

■集合廊下灯

条件

①

台数

1系統あたりの台数は最大**20台**までです。(子機は40台までです。)

(1系統あたりの一斉放送を行う子機と天井スピーカーの設置台数算出について)

計算方法 一斉放送を行う子機台数 + (一斉放送を行う天井スピーカー台数 × 2) ≤ **40台** 以下

(例) 1系統あたり子機15台、天井スピーカー10台を設置する場合
15台 + (天井スピーカー10台 × 2) = 35台 ≤ 40台

※生体情報モニタと接続している場合は総台数が、集合廊下灯119台、子機 239台までです。

条件

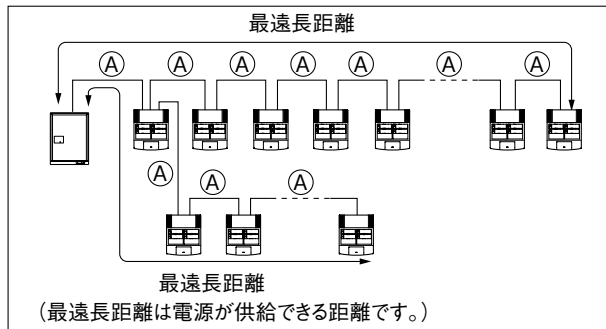
②

到達距離

最遠長距離は最長**200m**まで

総配線距離は**1000m**まで

範囲	到達距離
総配線距離(A)合計	1系統あたり1000m
最遠長距離	200m



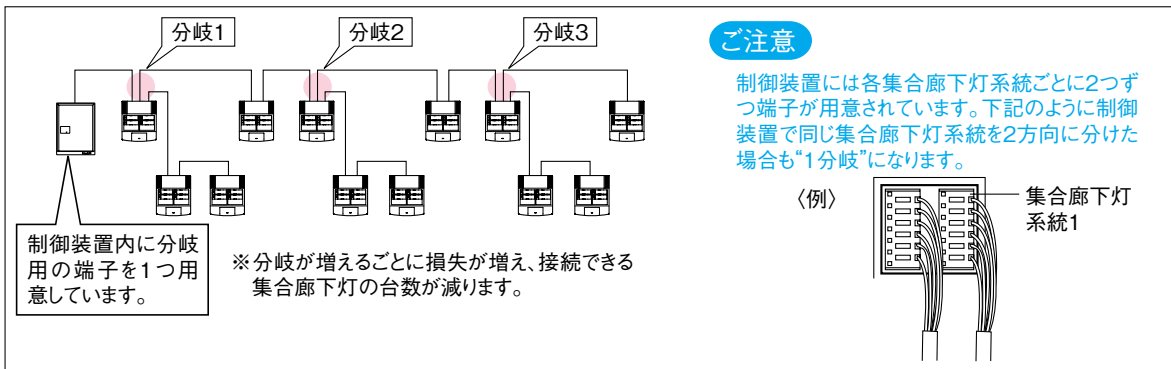
条件

③

分岐数

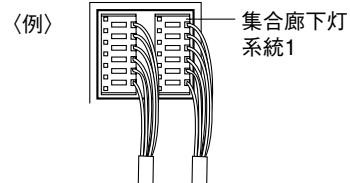
1系統あたりの分岐数は3分岐以内としてください。

分岐箇所から末端集合廊下灯の間が4m以上の場合“1分岐”になります。



ご注意

制御装置には各集合廊下灯系統ごとに2つつ端子が用意されています。下記のように制御装置で同じ集合廊下灯系統を2方向に分けた場合も“1分岐”になります。



更に下記の計算式で出力損失を確認してください。

下記のように出力損失が37dBを超えないことを確認してください。

線路損失 最遠長距離 × 0.065dB (200m以下) 1mあたり	+	集合廊下灯損失 台数 × 1.0dB (20台以下) 集合廊下灯 1台あたり	+	分岐損失 分岐数 × 4.0dB 1分岐 あたり	< 37dB 出力損失
---	---	---	---	-----------------------------------	----------------

